

患者の皆様へ

2020年 8月 3 日
眼科

現在、眼科では、「裂孔原性網膜剥離に関する後ろ向き研究」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では裂孔原性網膜剥離の患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「 裂孔原性網膜剥離に関する後ろ向き研究 」

2. 研究の意義・目的 「裂孔原性網膜剥離症例の術前所見および手術内容、術後経過所見を詳細に検討する事により、裂孔原性網膜剥離に対してより良い治療方法を開発する」

3. 研究の方法 「2010年1月以降に治療を行った患者さんの診療録に記録されている視力、眼圧、眼底所見などのデータから手術治療の効果と合併症等を調べる」

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院眼科学研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院眼科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院眼科 医師 馬場 隆之

043 (222) 7171 内線 6802 (眼科外来受付)